

Boundarist Movement

地球全体への最終覚醒 | 2025.12.18 / Maui, Hawaii

“Resonance opens the way.”

—共鳴が道を開く—

存在へ、行動へ、永遠へ。

マウイ島でオフグリッド生活を送る日本人家族—2023年の火災を経験—が、組織の災害レジリエンス構築を支援しながら、日系アメリカ人と祖先のルーツを再接続します。これはコンサルティングではありません。実体験から生まれたパートナーシップです。

Boundarist とは

境界に立つ人。システムが「当たり前」に機能しなくなった瞬間を経験した人。属性ではなく状態。誰でも、いつか境界に立つ。

2つのタイプ

外のバウンダリスト：システムから外れた人（住居喪失、失業、孤立など）→「存在していいよ」

内のバウンダリスト：システム内で限界を見て、自分の判断で動いた人 →「あなたの判断で動いていい」

7つの依存システム

生存（住居・身体）/ 社会（関係・家族）/ 経済（収入・信用）/ 制度（ビザ・資格）/ 情報（通信）/ 内面（アイデンティティ）/ 時間（世代）

なぜムーブメントか

- 普遍的な問い：「存在していいのか」—誰もが感じる
- 敵がない：分断を生まない
- 止められない：分散型、組織なし
- 実体験から生まれた：マーケティングではない

伝染モデル

渡す → 受け取る → 共感する → 動く → また渡す

金色の石鹼ラベルがムーブメントの種。内のバウンダリストへ直接配布。

実証済みの成果

状況	結果
銀行窓口担当者	住所なしでも口座開設を実現
ホテルマネージャー	規定外の部屋を提供
リゾートスタッフ	組織を超えて施設利用権を提供
ハナの歴史的教会	滞在費支援の合意 (2025 年 12 月 24 日)

同条件でも内のバウンダリストの有無で結果が変わる

なぜ私たちか

本土から飛んでくるコンサルタントではありません。ESTA で年の半分はここに滞在しています。

実績	なぜ重要か
2023 年マウイ火災の経験者	電力網が落ちても機能するシステムを構築
2023 年からオフグリッド稼働	72 時間以上の連続稼働を実証済み
歴史的教会との協働	2025 年 12 月に滞在費支援の合意書締結
Forbes JAPAN 寄稿者	日本のビジネスメディアでの信頼性
日本語ネイティブ	日本のパートナーとの言語障壁なし
現地在住の 3 人家族	すべてを自分たちで最初にテスト

関連サービス

Timeless Eternal Hope : 思想の実践

サービス	内容
Soul Carrier	日系アメリカ人の遺灰を故郷の墓へ届け、ルーツと再接続
刻む (Pearl Memorial)	レーザー彫刻による存在の証明
守る	3 拠点での災害耐性メモリー保管
支える	オフグリッド自立支援

カタログ: Catalog-ja.pdf | メディア向け: プレスキット

創設者

メンバー	役割
佐藤卓也	創設者、技術・戦略・手作り石鹼製作
佐藤美那	共同創設者、マーケティング、レジンアート
糸 (5 歳)	石鹼ヘルパー、家族の核

コンタクト

- **会話を予約:** calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession
 - **メール:** business@satotakuya.jp
 - **Instagram:** [@pearl.memorial](https://www.instagram.com/pearl.memorial)
 - **私たちの物語:** bit.ly/boundarist
-

「これは革命じゃない。目覚めだ。みんな本当はそうしたかった。共鳴を待っていただけ。」

In memory of Pearl (2007-2025)

パートナーシップ：業界別の共鳴ポイント

あなたの業界の「内のバウンダリスト」はどこに立っているか

ホテル・リゾート

【境界】 - 「規定ではできません」 vs 「この家族を助けたい」 - マニュアル通りの対応 vs 目の前のゲストを見る - 効率化の圧力 vs ホスピタリティの本質

【共鳴があれば】 - スタッフが自分の判断で動ける文化 - 「本物のストーリー」が生まれる場所に - サステナビリティが言葉でなく行動に

継続サポート体制:

フェーズ	提供内容
初期設置	システム設計、設置監督、スタッフ研修
シーズン毎のチェックイン	年の半分は島にいます—対面サポート可能
リモートサポート	トラブルシューティング、システム更新のビデオ通話
知識移転	あなたのチームが時間と共に自立できるように

協働の可能性: - ゲスト向けエリアのバックアップ電源（継続メンテナンスガイダンス付き） - マーケティング用「レジリエンス対応」認証 - スタッフエンパワーメント研修（フォローアップセッション付き） - ブランド向けサステナビリティストーリーテリング

コンドミニアム・管理組合

【境界】 - 「予算がない」 vs 「住民の安全を守りたい」 - 前例主義 vs 災害後に変わった現実 - 「停電したらどうなる？」という住民の問い合わせ

【共鳴があれば】 - 言葉ではなくインフラで安心を提供 - 住民が見て信頼できる具体的な改善 - 「準備できている」と言えるコミュニティ

コスト目安と理事会サポート:

システム	費用目安	カバー範囲
共用部バックアップ	\$15,000-50,000	エレベーター、照明、給水ポンプ
通信ハブ	\$3,000-8,000	緊急無線、充電ステーション
教育プログラム	ホスピタリティに含む	住民向けワークショップ

費用内訳と住民へのメリット分析を含む理事会プレゼン資料の作成をお手伝いできます。

協働の可能性: - 共用部のバックアップ電源システム（段階的導入オプションあり） - 住民向け教育ワークショップ（これまで 5 回以上のコミュニティセッション実施） - 緊急時通信インフラ - ROI ドキュメント付き理事会提案パッケージ

不動産業者・プロパティマネージャー

【境界】 - 売上目標 vs クライアントの本当のニーズ - 「バックアップ電源はある?」という新しい質問 - 差別化したいが方法がわからない

【共鳴があれば】 - レジリエンスを競争優位に転換 - 「オフグリッド対応」をリストティングの特徴に - 安全と品質を優先するバイヤーへの訴求

市場の現実（2023年以降）：

トレンド	影響
バイヤーの優先順位変化	「災害対策」がマウイ物件検索のトップ5質問に
差別化のチャンス	マウイのリストティングでレジリエンス機能に言及しているのは約5%のみ
成約優位	バックアップシステムの書類がある物件は本土バイヤーとの成約が早い
プレミアム可能性	「オフグリッド対応」認証は高い売却価格を正当化できる

協働の可能性: - 物件レジリエンス評価（マーケティング可能なレポート付き） - リストティング用「オフグリッド対応」認証プログラム - バイヤー向け教育資料（英語/日本語） - 競争優位としてのレジリエンス営業研修

デベロッパー

【境界】 - コスト削減の圧力 vs 長期的な価値 - 「後付けていい」 vs 「今、基礎に組み込むべき」 - 次の災害の前に準備したい

【共鳴があれば】 - 初日からオフグリッド機能を統合設計 - 技術の進化に適応するシステム - 「未来対応」が売りになる物件

コストと法規準拠:

要素	詳細
事前配線コスト	建設時に統合すれば \$500-2,000/戸（後付けは \$5,000-15,000）
ハワイ建築基準	ソーラー、蓄電池、発電機設置の地域要件を理解
差別化	2023年以降、「災害対応」はマウイでバイヤーのトップ質問
マーケティング価値	「レジリエンス重視で建築」がプレミアムバイヤーを引きつける

協働の可能性: - コスト分析付き建設前レジリエンスコンサルティング - ハワイ建築基準に準拠した仕様策定 - セールスチーム向けモデルルームデモンストレーション - レジリエンス機能を強調するマーケティング資料

ツアーオペレーター

【境界】 - 「サステナブル」を謳いたいが実態が伴わない - 遠隔地でのインフラ課題 - 本物の体験を提供したい

【共鳴があれば】 - 電力網が届かない場所での電力と接続 - オフグリッドアドベンチャーがプレミアム商品に - 言葉だけでないサステナビリティ

パッケージコンセプト:

体験	内容	価格帯
オフグリッドアドベンチャー	サステナブル電源を備えた遠隔地	プレミアム
文化イマージョン	Soul Carrier ストーリー+祖先 との繋がり	ハイエンド体験
レジリエンスツアー	マウイがどうサステナブルに再建 しているかを見る	教育プレミアム

協働の可能性: - 遠隔地の電源ソリューション（モバイルセットアップは \$5,000 から） - プレミアム商品としての「オフグリッド体験」ツアーパッケージ - Soul Carrier ストーリーを通じた本物の文化接続 - 共同ブランドのサステナビリティコンテンツ

観光局・DMO

【境界】 - 観光促進 vs コミュニティの幸福 - 災害後に変わった訪問者の期待 - プロモーションだけでなく実践が求められる

【共鳴があれば】 - レジリエンスと責任のメッセージを構築 - 負担ではなく強化するツーリズム - サステナブルツーリズムの実践

測定可能な成果:

KPI	測定方法
訪問者センチメント	「責任ある観光」認識に関する訪問後アンケート
コミュニティインパクト	レジリエンスプログラムへの地元事業者参加率
コンテンツリーチ	レジリエンストーリーテリングキャンペーンのエンゲージメント指標
文化的繋がり	Soul Carrier プログラム参加と家族再接続数

協働の可能性: - 測定可能なエンゲージメントを伴うレジリエンストーリーテリングコンテンツ - インパクト追跡付きコミュニティファーストの観光モデル - 日本人訪問者向け文化プログラム (Soul Carrier) - 四半期ごとのプログラム成果報告

建設会社・建築家

【境界】 - クライアントの予算 vs 本当に必要なもの - 「レジリエンスはオプション」という古い考え方 - この島の未来を建てている責任

【共鳴があれば】 - 後付けではなく、特徴としてのレジリエンス - 正しく設計・設置されたオフグリッドシステム - チームが維持できる知識の共有

研修とフォローアップサポート:

フェーズ	サポート内容
設計段階	仕様、コンポーネント選定、統合計画
設置	現場監督、品質保証、トラブルシューティング
引き渡し	包括的なドキュメント、チーム研修セッション
完工後	6ヶ月チェックイン、必要に応じた継続コンサルテーション

協働の可能性: - ドキュメント付き技術仕様と研修 - 品質監督付き設置パートナーシップ - メンテナンス知識の移転（あなたのチームがエキスパートに） - 長期的な技術サポート関係

不動産投資家

【境界】 - 短期リターン vs 長期的な資産価値 - 災害リスク = 投資リスクという現実 - ポートフォリオを守りたい

【共鳴があれば】 - 緊急事態の前も、最中も、後もパフォーマンス - サステナビリティがプレミアム機能に - 長期的な安定を優先する投資家との繋がり

投資への影響:

要素	効果
保険料	バックアップ電源を持つ物件は災害関連補償で 10-15% の削減可能性
停電時稼働率	私たちのパートナー物件は 2023 年の電力網障害時も 100% 稼働を維持
資産保護	システムは電力サーボや長期停電によるダメージを防止
転売価値	「レジリエンス対応」物件は災害後にプレミアム価格を実現

協働の可能性: - ROI 予測付きポートフォリオレジリエンス監査 - 保険最適化分析 - 災害意識の高いバイヤー向けプレミアムポジショニング戦略 - デューデリジェンス用資産保護ドキュメント

地元住民

【境界】 - 「準備しなきゃ」 vs 「何から始めれば」 - 災害を経験した。次は違う結果にしたい - 外部のコンサルタントは信用できない

【共鳴があれば】 - 隣人として、正直なアドバイス - ここに住んでいる人間からの具体的な知識 - コミュニティで支え合う文化

私たちのコミュニティ活動:

活動	詳細
開催ワークショップ	2023 年以降 5 回以上のコミュニティ備えセッション
支援した隣人	10 世帯以上へのレジリエンス計画直接サポート
機材シェア	停電時のコミュニティ充電ハブ
知識シェア	理論ではなく実体験からの実践的なヒント

協働の可能性: - ご近所ワークショップ（コミュニティメンバーは無料） - コミュニティ機材シェアリングプログラム - ローカル知識交換イベント - 「備えている世帯」認定

すべての業界に共通すること

どの業界にも「内のバウンダリスト」がいます。ルール通りにしたくない人。目の前の人を助けたい人。「おかしい」と感じている人。

私たちはその人たちに届けます：「あなたの判断で動いていい」

共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。

求めているもの・協働の進め方

価値観の一致

- サステナビリティへの本物のコミットメント（マーケティングだけでなく）
 - 地元の文化とコミュニティへの敬意
 - 短期的な利益より長期的な思考
-

実践的なサポート（家族第一）

- 3人家族向けのファミリーフレンドリーな宿泊施設—私たちはユニットとして動きます。これは譲れません。
 - 家族で快適に過ごせる環境（キッチン、洗濯機、子どもが遊べるスペースなど）
 - 施設・リソースへのアクセス
 - 関連チームへの紹介
-

相互利益

私たちが提供	あなたが提供
専門知識と労働力	プラットフォームとリソース
技術的知識	アクセスと紹介
ドキュメンテーションとストーリーテリング	宿泊とロジスティクス

一緒に、どちらか単独では作れないものを創造

特に関心があるもの

- サステナビリティプログラムを持つホテル・リゾート
 - 災害レジリエンスを求めるコンドミニアム
 - 物件差別化を図る不動産業者
 - 新規プロジェクトを建設するデベロッパー
 - サステナブル体験を作るツアーオペレーター
 - ハワイ文化保存に関わる組織
 - 内のバウンダリスト—組織の中で正しいことをしたい人
-

協働のプロセス

ステップ	内容	期間
1. 会話	話しましょう。コミットメントなし。探索だけ。	30 分
2. 現地訪問	物件を見ます。家族に会っていただきます。	1-2 時間
3. 提案	明確な範囲。明確な期待。明確な価値。	1 週間
4. 協働	リモートコンサルタントではなく、現地のパートナー。	要相談
5. ドキュメンテーション	ストーリーを記録します。サステナビリティの旅を記録。	継続的

私たちについて

- 本土から飛んでくるコンサルタントではありません。ESTA で年の半分はここに滞在しています。
- 災害条件下で機能するシステムを構築してきました
- Forbes JAPAN 寄稿者
- 日本語ネイティブ日本市場と文化への架け橋

料金について—ゲスト・ホスピタリティモデル

ギフトエコノミーの原則に基づき、法的に確立された枠組み「ゲスト・ホスピタリティ同意書」で運営しています。

これが意味すること

これはホスピタリティ（おもてなし）の取り決めであり、コンサルティングや雇用ではありません。私たちはあなたのゲストとなり、貢献は以下の性質を持ちます：

- 完全に自発的かつ自己主導
- 義務ではなく、感謝の表現
- 相互の尊重と共有された目的に基づく

仕組み

要素	従来のコンサルティング	私たちのホスピタリティモデル
関係性	ベンダーとクライアント	友人とパートナー
義務	契約上の成果物	自発的な貢献
報酬	時間/プロジェクト料金	ホスピタリティという贈り物
期間	固定プロジェクト期間	柔軟、関係性に基づく
成果	定義されたスコープ	有機的、期待を超えることが多い

私たちが求めるもの

- 3 人家族向けのファミリーフレンドリーな宿泊施設（家族はユニットとして動きます—譲れません）

- キッチン、洗濯機、娘が遊べるスペース
- 施設と関連チームへのアクセス
- 貢献の仕方を自分たちで決める自由

あなたが受け取るもの

- 私たちの全専門知識、主体性、労働力
- 災害条件下で磨かれたスキル
- サステナビリティの旅のドキュメンテーションとストーリーテリング
- 取引的な関係ではなく、真のパートナーシップ

私たちの実績

このモデルは顕著な成果を生んできました：

パートナー	貢献内容	結果
宗教団体	完全オフグリッドソーラーインフラ	仮設住宅が完全稼働
パー・カルチャーファーム	大規模な物件改善	持続可能なシステムが今も稼働中
ハナの歴史的教会	コミュニティへの統合	正式な滞在支援の合意書締結

法的枠組み

ゲスト・ホスピタリティ同意書は以下を目的として設計されています：

- 両当事者を法的に保護
- 適用される法律への準拠を確保
- 友情に基づくホスピタリティであり、雇用ではないことを明確化
- 労働対宿泊の懸念なく、真の貢献を可能に

ESTA の制約と代替的な取り決め

重要: 私たちは ESTA (ビザ免除プログラム) で米国を訪問しています。ESTA では、米国内で行った業務に対する報酬を受け取ることができません。そのため、**ゲスト・ホスピタリティモデルが私たちの主要な取り決めです—雇用ではなく、法的に準拠したホスピタリティです。**

従来の料金体系が必要な組織向けには、**日本国内での業務または日本法人を通じて以下のオプションが利用可能です：**

モデル	説明	管轄
プロジェクト料金	定義されたスコープと固定価格	日本での業務
収益シェア	成果ベースの報酬	日本法人経由
ハイブリッド	ホスピタリティ（米国）+ 料金 (日本での業務)	分割

双方にとって意味のあることを話し合いましょう。

お話ししましょう

- **会話を予約:** calendly.com/pearlmemorial/pearlmemorialsession
 - **メール:** business@satotakuya.jp
 - **カタログ:** Catalog-ja.pdf
 - **プレスキット:** press-kit-ja.html
 - **Boundarist Movement:** bit.ly/boundarist
-

「共鳴があれば、それでいい。なければ、それもいい。響く人に届けばいい。」

In memory of Pearl (2007-2025) | Timeless Eternal Hope / Maui, Hawaii